

特定非営利活動法人

生活バス四日市

URL : <https://www.rosenzu.com/sbus/>

活動紹介

- 活動場所 : 四日市市内（羽津、大矢知、垂坂、大谷台）
- 活動日、活動頻度等 : 月～金曜日の5日間
- 活動内容など

三重交通バス垂坂線が利用者減少による赤字路線として、平成14年5月末で廃止となりました。その対策として、従来の公共交通運営の仕組みとは異なり、地域住民が主体となり、地域企業等の協力を得ながら、地域が求める公共交通を自分たちの手で企画・運営し、有料路線バスを走らせています。全国で初めてのNPO法人「生活バス四日市」は「買い物と通院」という利用目的を重視しています。運行コースは、近鉄霞ヶ浦駅から郊外にある「スーパーサンシ大矢知店」まで直線距離で約4kmのところを、これまでバスが走らなかった住宅地域をジグザグに走り、生活に密着した商店、病院、銀行、郵便局、介護施設、市民センターなどを経由しながら、約11.5kmの区間に35カ所のバス停留所を設置し、座席数22人乗りバスで、4往復しています。旧路線の利用者は1日平均25～30人でしたが、平成15年の新路線運行時は65～70人となり、平成22年ごろの最盛期には100人を越える乗車がありましたが、近年環境の変化（コンビニなど商店の増加、利用者の高齢化、高齢運転者の増加など）、新型コロナウイルスの影響などによって、利用者は50人ほどに減少しています。

代表者の想い

生活バス四日市は住民主体のNPO法人であり、携わる住民のボランティア精神による活動・沿線事業者さんの地域貢献としての協賛金・運行事業者さんの低コストでの協力・行政からの補助金・運賃収入など、役割分担（コラボレーション）によって、支えられています。地域住民が主体となり、生活バスを運営し、高齢者や車を運転できない人の移動手段を確保する（公共交通との融和）ことによって、地域の新たな公共交通ニーズを開拓し、もって、バスを活用した地域活性化（地域づくり）と福祉の増進を図ることが出来ます。結果として介護予防、人権保護、地球温暖化対策に寄与出来ると思ひ、20年間活動を行ってきました。20周年記念講演会を行い、改めてこのバスはSDGs（持続可能な開発目標）の理念に即した移動手段であり、さらに継続・発展させたいと思っております。

PR

特に高齢者からは「家族に気兼ねなく通院や買い物に行ける。」さらには「バスに乗ることで、家に閉じこもることなく、お話も出来、友達も増える」と喜ばれており、当初の目的の一つである、「動く宅老所」が出来たと思っております。生活バスを利用していただくために活動しております。たくさん乗っていただくことが活動のエネルギーとなり、バス存続と発展になりますので、企業様からの協賛金のご協力と、“乗って残そう生活バスよっかいち”と近隣の皆さんへお声がけをいただきたく、よろしく願いいたします。

